

私たちの基礎自治体である 富山市。

誰もが安心・安全な暮らしを
継続して送れるよう
課題を一つ一つ
解決してまいります。

平成29(2017)年4月に初当選させていただき、皆さまの期待にお応えできるよう、4年間取り組んできました。

市政について勉強すればするほど、見えてきたのは、富山市の課題や問題点です。少子高齢化に対する取り組み、社会インフラの老朽化対策、さらには新型コロナウイルスによる新しい生活様式への対応にも直面しています。

すべては富山市民の健康・安全・安心のために。これからも行動してまいります。

■プロフィール

生年月日 昭和48年7月24日生 満47歳
家族 妻、長女(中学生)、長男(中学生)
次女(小学生)、両親の7人
趣味 サッカー、カメラ、スポーツ観戦

■学歴

昭和61年 富山大学教育学部附属小学校 卒業
平成元年 富山大学教育学部附属中学校 卒業
平成4年 富山第一高等学校 卒業
平成9年 日本大学理工学部建築学科 卒業

- 職歴 平成9年 松井土石興業有限会社 入社
平成12年 衆議院議員 長勢甚遠 秘書
平成21年 松井土石興業有限会社 取締役
有限会社松井運輸 取締役
- 現在 富山市議会議員(1期目)
常西用水土地改良区 総代
一般社団法人 富山市サッカー協会 正会員
富山県立中央病院 四ツ葉会 会長



後援会連絡先

後援会事務所
(松井土石興業)

松井くにと事務所

〒930-0916 富山市向新庄町三丁目3番7号
TEL・FAX (076)451-1261
携帯電話 080-2345-0991
メール matsuk1973@gmail.com



「松井くにと後援会」

→QRコードより友だち追加



松井くにと



後援会討議資料



ひと
家族
地域が
輝くとやまに

松井くにと

47歳

自由民主党

富山市の課題と「松井くにひと」の提案

財源 1 人口減少により、財源の確保が厳しくなる。財源のうち市税が45.1%。その内訳は固定資産税と個人市民税で約75%をしめる。

- * 魅力あるまちづくりによる固定資産税の増加
- * 移住者と観光客の増加推進を検討
- * 企業の経営安定のための支援

人口 2 人口減少をいかにゆるやかな減少にとどめていくか。

- * 子育てしやすい環境をアピールし、家族とともに富山市に住んでもらう
- * 県外出身の大学生に、卒業後も富山市に就職し、定住してもらう
- * 県外へ転出した方のUターンを推進



医療 3 民生費(子育てや介護、福祉などに使う経費)の比率の増加とともに、医療の最後の砦である公立病院の維持・継続が課題となっている。

- * 平均寿命と健康寿命の差を短くする施策を実施(とほ活アプリなど)
- * 市民病院のあり方について検討

市民サービス 4 財源が厳しくなっていくとこれまでと同じようなサービスを提供することが難しくなる。

- * 地域コミュニティと市役所が協力してサービスを維持していく
- * 頑張っている地域を支援

教育 5 児童・生徒数の減少にともない男女比の偏りや、クラス替えができない等の課題が顕著化。

- * 子供たちの教育環境にあった学校規模にする
- * 地域にあった義務教育学校やコミュニティースクールの検討

農業 6 担い手不足による休耕田、耕作放棄地が増加し、雨水対策にも影響がでてきている。

- * 休耕田等を活用するための取組み
- * 担い手不足解消のために、人材マッチングや農業ボランティアの検討

社会インフラ 7 道路・橋りょう・上下水道の更新費用が増加していく。

- * 維持管理費をおさえるため、地域や民間企業・大学などと協力していく

富山市の総人口・総世帯数の変遷と予測

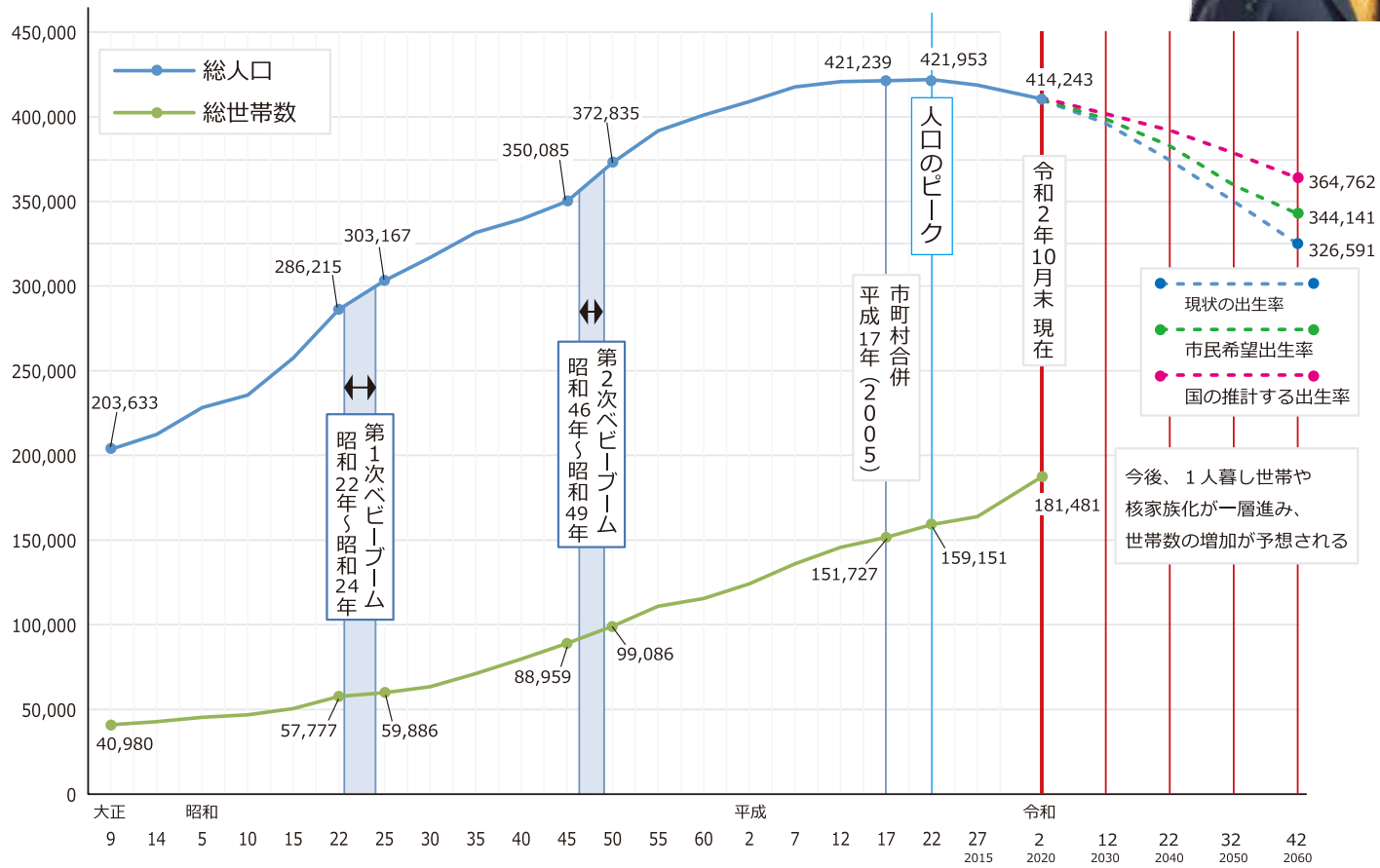


図 富山市の総人口・総世帯数の推移 大正 9 (1920)年～令和 2 (2020)年 出典：国勢調査 (平成17年以前は富山市を構成する旧市町村の合計値)